

Symbiosis Letter

[シンビオシス レター]

2023
4



リモートワークのススメ

ニーズが高まるワーケーションをさらにご満足いただくため、受託先であるトヨタ白川郷自然学校では2022年度観光庁のワーケーション推進事業に取り組みました。複数の企業の皆さんにご利用いただき、「大自然の中でお気に入りの場所を見つけ、その中で仕事に取り組むと普段とは違ったアイデアが出た」「落ち着いた気持ちで効率が上がった」など様々な意見をいただきました。



パソコンとスマホがあれば、どこでも仕事ができるという方が増えている昨今。企業も「元気な方が、さらに元気になって業務に取り組んでほしい」という考え方が増えています。そのようなニーズにもトヨタ白川郷自然学校は対応いたします。

研修のご案内

受託先であるトヨタ白川郷自然学校を活用し、研修プログラムを提供しています。日常業務とは異なる課題解決型グループワークを通じて、企業人に求められるヒューマンスキルの向上に寄与するプログラムをご提供いたします。また、連帯感を強めコミュニケーションを醸成することを目的としたプログラムや、社会貢献活動や環境意識の向上など、目的に沿ったプログラムをご提案しています。



■自ら考え、自ら行動する企業人を育成するグループプロセス実習

例

合意形成が求められる課題達成型グループワークを通じて組織行動において大切なことや、参加者自身の態度への気づきを促し、普遍的なヒューマンスキルを啓発します。

【その他のプログラム】> ■社会行動経験学習 ■オリエンテーリング ■小講義
■コミュニケーション実習 ■ふりかえりとわかつあい



●NPO法人 白川郷自然共生フォーラムは、トヨタ白川郷自然学校の運営ならびに地域の自然保全活動などに取り組んでいます。会員(法人・個人)は随時募集しています。

●会員になられた方には〈宿泊費・イベント参加費の割引〉や〈会報の送付〉などの特典があります。会員登録方法については下記へお気軽にお問い合わせください。

●東名高速・名神高速一宮JCT→東海北陸自動車道(2時間)→白川郷IC→国道156号線から白山白川郷ホワイトロード方面(10分)→トヨタ白川郷自然学校

●北陸自動車道小矢部砺波JCT→東海北陸自動車道(40分)→白川郷IC→国道156号線から白山白川郷ホワイトロード方面(10分)→トヨタ白川郷自然学校

発行者

NPO法人 白川郷自然共生フォーラム
Forum for Environmental Symbiosis in Shirakawa-go

〒501-5620 岐阜県大野郡白川村馬狩223(トヨタ白川郷自然学校内)
TEL.05769-6-1185 FAX.05769-6-1287 Mail. info@f-ess.com HP. <https://f-ess.jp>

ごあいさつ

理事長 田中 泰

「山あり谷ありを 楽しむ」

ウエルビーライフという言葉を目にするようになりました。これは身体的・心理的・社会的に良い状態ということだそうです。日本語では「幸せ」と訳されることも多いようですが、実際の概念はもっと広い意味を含んでいます。「嫌なこともあるけど全体で見ればいい人生かな」という感覚と、「なんだかいませ!」という体験がときどきある、その総計とも言われています。嫌なことも含まれているのがポイントではないでしょうか。

また嫌なことをリセットする「ポジティブ比」という考え方があります。1つの嫌なことをリセットするには3つの良いことがあればよいそうです。

だから自分で自分をポジティブにする処方箋を用意しておくと良いとのこと。ホットとする飲み物を飲む、気持ちが安らぐ音楽を聴く、漫才を見て笑うなど。気持ちの浮沈や山谷を自分で何とかする取り組みとして活用できそうです。

そういうことであるならば自然の中で過ごす・遊ぶということもその処方箋に加えるのはいかがでしょうか。なぜなら自然の中へ足を運ぶと、意図しなかつた複数のポジティブに出会うからです。道中のきれいな花や鳥の声、顎をなでる風の冷たさ、土や水の香りなど、一度の外出で一度も三度もおいしいのです。

嫌なことが多少あっても、ウエルビーライフでいられる社会づくりに自然体験は大きく貢献できると感じてあります。天気が良い日は外へ出ましよう。

夏の山や渓谷、冬の森…
季節を体感する
遊び山遊び!!





大白川

[白川村より指定管理を委託]



**白山レイクサイドロッジ
及び 大白川露天風呂**

こちらもアクセス道通行止めの影響もあり営業日は限制的となりましたが、のべ900人様ほどにご利用いただきました。昨年度実施することできなかつた飲食販売も実現しました。



2022年度は昨年度の利用状況を考慮し、土・祝前日及びお盆期間での営業に限定。アクセス道路の災害復旧工事の影響もあり営業日は18日と限定的となりましたが、のべ280名様にブナの原生林に囲まれたキャンプ場をご利用いただきました。



白川村より「白山ブナの森キャンプ場」「白山レイクサイドロッジ」並びに「大白川露天風呂」の指定管理を受託いたしました。来年度も引き続き運営を受託してまいります。

白山ブナの森キャンプ場



2022年度は昨年度の利用状況を考慮し、土・祝前日及びお盆期間での営業に限定。アクセス道路の災害復旧工事の影響もあり営業日は18日と限定的となりましたが、のべ280名様にブナの原生林に囲まれたキャンプ場をご利用いただきました。



トヨタ白川郷自然学校



2022年度もトヨタ自動車(株)から委託を受け、「トヨタ白川郷自然学校」の運営を行い、年間延べ約9,900人(23年2月時点)の方にご利用いただきました。また年間18種類のアクティビティと7種類のキャンププログラムをご用意し、延べ約5,830人(23年2月時点)の方にご参加いただきました。

キャンププログラムでは2週間のチャレンジキャンプも再開。「SDGs担い手育成講座」を年4回開催。社会課題解決の担い手となる人材を育てる「Well-being」やPERMAが目指す方向には自然学校が今まで取り組んできたものがた

さらにワーケーション推進事業(観光庁)にも取り組み、プランをブラッシュアップ。また今年度もトヨタ自動車と協働で「SDGs担い手育成講座」を年4回開催。社会課題解決の担い手となる人材を育てる「Well-being」やPERMAが目指す方向には自然学校が今まで取り組んできたものがた

きりが一回りも二回りも成長し送り出すことができました。



2023年度も引き続き委託を受け、様々なお客様に多様なアクティビティと美味しい食事をでお伝えしていきます。



白川村でもしもを生き抜く スキルアップ学習〈里山遊び塾〉

2005年より白川村の支援を受け、健全な放課後活動の推進や地域の教育力の向上、豊かな自然環境への理解を目的として、村の子どもたちへ様々な体験を提供しています。

2020年度より白川郷学園の

授業「ふるさと学習」の一環として「72時間サバイバル教育」(72時間サバイバル教育協会)のカリキュラムを利用して、村の子供たちの、災害時に自分を守る「自助」、他人を助ける「互助」の力を育むためのプログラムを実施。水をきれいにする体験や避難所仮想掲示板づくりなど、3年生から8年生まで様々な課題に取り組みました。



大窪池を愛する会 活動報告



白川村の景勝地「大窪池」を訪れる方が自然に歩きたくなる憩の場となるよう、2016年の会発足より、周辺散策路の保全活動を継続的に行っております。

2022年度も計4回、のべ156名の会員の方々や白川村有志の方々と、2021年1月に起きた雪崩の被害の復旧と、湖面の陸地化を食い止めるため、張り出した葦や低木の伐採に力を入れました。白川村からは、胴長やスコップといった作業に関わる備品消耗品を購入して頂き、作業がはかどりました。



2005年より白川村の支援を受け、健全な放課後活動の推進や地域の教育力の向上、豊かな自然環境への理解を目的として、村の子どもたちへ様々な体験を提供しています。

2020年度より白川郷学園の

授業「ふるさと学習」の一環として「72時間サバイバル教育」(72時間サバイバル教育協会)のカリキュラムを利用して、村の子供たちの、災害時に自分を守る「自助」、他人を助ける「互助」の力を育むためのプログラムを実施。水をきれいにする体験や避難所仮想掲示板づくりなど、3年生から8年生まで様々な課題に取り組みました。

持続可能な観光の実現へ

～魅力的な観光発信と自然资源保全との両立～

当フォーラムが事務局として協力している「まるごと体験協議会」が白川村と一緒に活動し、昨年度認定を受けた『エコツーリズム推進全体構想』。認定されたことにより柔軟なお客様送迎が可能となつたことを受け、当法人が運営を受託しているトヨタ白川郷自然学校においても大白川や白山、白山白川郷ホワイトロードへの迎えを実施し、より魅力的なアクティビティの開催が実現しました。

また、その一方で人の流れが多くなることによる自然资源の劣化を防ぐため、自然環境の変化を把握するためのモニタリング調査が必要となります。2022年度はNPO法人「森のなりわい研究所」と連携して定点観測ポイントを設定するための調査を行い、モニタリング対象エリアとして4地区(①荻町、②大白川、③三方岩岳、④天生湿原)から17地点を選定いたしました。またエコツーリズムを活用したアクティビティ事業の活性化を狙いとして、観光協会と連携し白川村観光事業者を対象とした、エコツーリズム活用の研修会も実施しました。

登山届回収

アウトドアでの活動を推進する当フォーラムでは、安全に楽しく白山を楽しんでいただくべく、白山連峰の一部における登山届の管理及び登山指導を白山山岳遭難対策協議会より委託を受け、その業務を実施しております。

2022年度はグループだけでなく単独で登山を楽しむ方も増えたようです。単独での行動では特に登山届



の提出は重要。昨今の冬季バックカントリーエリアでの遭難報道などからも、いかに山での捜索が難しいか、いかに速やかな捜索・救出のためには登山届けの情報が重要であるかが世間的にも知られることとなりました。私どももその安全意識の向上に今後も貢献していきます。

日頃より当法人の運営にご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます

愛知製鋼／愛知陸運／青山製作所／朝日ケ丘産業／ウーノ／大豊工業／オティックス岐阜車体工業／ジェイテクト／杉浦製作所／ダイハツ工業／太平洋工業／槌屋デンソー／東海理化／トーエーネック／トヨタエンタプライズ／トヨタカローラ愛知トヨタカローラ富山／豊田合成／トヨタシステムズ／トヨタ自動車／豊田自動織機トヨタ車体／トヨタ生活協同組合／豊田中央研究所／豊田通商／トヨタ紡織トヨタファインシャルサービス／トヨタ不動産／ネッツトヨタ中部／ネッツトヨタ富山ネッツトヨタ東埼玉／斐太石油／日野自動車／ホンダロジコム (50音順・法人格略)